

プラス記事 9%減、ニュートラル・マイナス記事 74%増 通信各社、上場や提携で浮上 LINE・みずほが提携、新銀行設立へ

11月度のプラス評価は75億7483万円、ニュートラル・マイナス評価は83億3723万円だった。前月と比較するとプラス換算値は9%減、ニュートラル・マイナスは74%増だった。11月は、株式上場や業務提携などが大きく取りあげられた通信各社が上位に入った。また、新規事業参入の話題で換算値を伸ばした企業も散見された。

2位ソフトバンクグループは前月の3位から順位を上げて2カ月連続のランクインとなった。通信子会社の8位ソフトバンクが12月に東証1部に上場することが注目され、両社の「経営」の換算値比率はそれぞれ45%、63%となった。日経は、13日の一面トップで「通信子会社の経営独立を機に本体は投資会社としての性格を強める」「投資先を連携させることで、先端分野で強い影響力を持つプラットフォームとしての地位獲得を狙う」と解説した。また、ソフトバンクグループが運営する10兆円規模の「ソフトバンク・ビジョン・ファンド」の投資先が67社

に増加することも報じられた。

子会社ソフトバンクは、東証の上場承認を受け新規株式公開の詳細を発表した翌13日に報道が集中した。上場による時価総額は約7兆1800億円と想定され、3年前の日本郵政に次ぐ大型案件となる点に注目が集まった。

9位LINEは、銀行事業への参入が話題となった。みずほフィナンシャルグループと共同で新銀行「LINE Bank」を設立すると27日に発表。出沢剛社長とみずほFGの岡部俊胤副社長が共同記者会見で2020年の開業をめざすことを明らかにし、翌日の全紙で記事化された。各紙は「広告に依存した収益構造からの脱却を目指す」(産経)などと背景を解説し、みずほについても「ネット完結の若者と接点を持つことが目的」(朝日)と報じた。読売は、ITプラットフォーム企業の金融業への本格進出について「本当の脅威となる」という大手銀幹部のコメントも掲載した。

プラス記事掲載ランキング

換算値:千円

順位	企業名	換算値	主要な掲載要因
1	トヨタ自動車	276,430	定額の車乗り換えサービスを2019年から開始。「商品」42%、「経営」18%。
2	ソフトバンクグループ	166,123	子会社のソフトバンクが12月に東証上場へ。「経営」45%、「提携・合併」27%。
3	NTTドコモ	154,383	2019年内に携帯料金を2~4割値下げへ。「販売」56%、「商品」22%。
4	ツイッター(米)	127,216	日経「すっきり生活」でツイッターを利用した情報収集方法を解説。
5	楽天	126,635	KDDIと決済・物流・通信事業で提携。「提携・合併」58%、「社長・会長」12%。
6	JR東日本	113,888	計画運休を前日に発表へ。品川駅構内に設置した箱型シェアオフィスを公開。
7	パナソニック	105,052	ラグビーの福岡堅樹選手、創業者の松下幸之助氏など「人」45%。「販売」18%。
8	ソフトバンク	100,127	東証からの上場承認を発表。時価総額7兆円超を想定。「経営」63%。
9	LINE	99,956	みずほFGと提携し銀行業参入を発表、2020年開業へ。「提携・合併」35%。
10	KDDI(au)	99,857	楽天との事業提携を発表。3Gサービスを2022年終了へ。「提携・合併」70%。
11	阿里巴巴集団(アリババ)	86,610	「独身の日」ネットセールで1日の取扱高が3.5兆円超に。「販売」82%。
12	アップル(米)	86,440	2018年9月期決算で3年ぶりに最高益を更新。「販売」26%、「経営」22%。
13	AGC	74,444	読売「LEADERS」に島村琢哉社長が登場。ドコモとガラス製アンテナを開発。
14	アマゾン・ドット・コム(米)	68,558	通信衛星事業に参入。米国での最低賃金を引き上げ。「販売」54%、「経営」27%。
15	NTT	65,619	読売「言葉のアルバム」に澤田純社長が登場。中期経営計画を発表。
16	三井住友銀行	64,085	2019年前半に三菱UFJ銀行とATMを相互無料化すると発表。「販売」78%。
17	日本郵便	63,912	郵便物の翌日配達・休日配達の廃止を要望。平成最後の年賀はがきを発売。
18	野村アセット	62,206	日経「未来面」でSDGsの投資商品を紹介。「商品」86%、「技術」11%。
19	イオン(ジャスコ)	61,577	お歳暮の配送前倒しや料金値上げなど配送時期の分散を計画。「販売」32%。
20	三菱UFJ銀行	61,236	2019年前半に三井住友銀行とATMを相互無料化すると発表。「販売」83%。